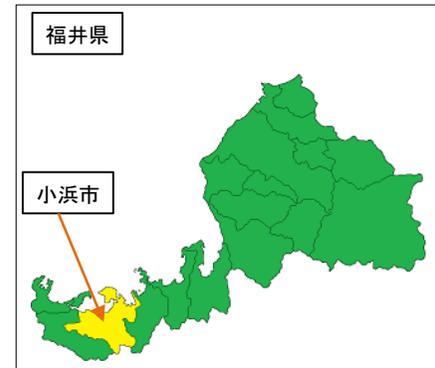


棚田を活用した都市農村交流活動の展開

おぼまし
(福井県小浜市)

たがらすせいぶ
田烏西部農地保全組合集落協定)



- 棚田を活用したイベント「たがらす棚田キャンドル」「うちとみフォトコンテスト」を開催して都市農村交流活動を展開、地域を活性化。

協定面積：2.2ha（田） 交付金額：59万円（共同取組活動100%）
協定参加者：農業者20人 協定開始：平成12年度

地域の現状

- 当地区は、小浜市の北東部に位置する、若狭湾に面した急傾斜地となっており、兼業農家主体の棚田地域。
- 農業従事者の高齢化、若者の減少に加え、野生鳥獣による被害が増加したことにより、営農意欲が低下し農地や水路の維持管理が困難。
- このため、地域全体が支えあって棚田の保全を推進するという目的の下、合意形成がなされ平成12年度より本制度に取り組む。
- 鳥獣被害防止柵の設置等に本交付金を活用。



【田烏の海を背景にした棚田】



【棚田での農作業】

取組の概要

- わがそでくらぶ
- 集落協定参加者と集落有志でつくる「たがらす我袖倶楽部」が明りのない若狭湾に面した棚田を利用して、2,500個のキャンドルで彩る「たがらす棚田キャンドル」を毎年春と秋に開催、棚田で収穫した米やおにぎりを販売。
 - 棚田など、地域の自然とくらしをテーマとして「うちとみフォトコンテスト」を実施、入賞者には棚田米を商品として提供。
 - これらのイベントを通じて都市農村交流活動を展開、棚田の価値観を地元農家で共有し、棚田保全活動の意欲を向上。
(都市農村交流人口：約2千人、耕作放棄地約10a解消)
 - 「たがらす我袖倶楽部」が、廃校校舎の一部を「たがらすなれずし工房」として改修し、棚田米を原料とする伝統食の「へしこなれずし」を製造・販売。



【たがらす棚田キャンドル】



【棚田で収穫した米等の販売】



【へしこなれずし】